

# 2012年2月研究会（中部地区）

日 時：2012年2月22日（水曜）18:30～20:30

会 場：名古屋商科大学大学院 伏見キャンパス 3階講堂

講演者：武田 昭俊（株式会社タケダ 取締役会長 事業承継学会理事）

演 題：「我社の事業承継の留意点」

研究報告：野間口 隆郎（名古屋商科大学大学院教授）

報告内容：「経営者能力論と事業承継」

司 会：齋藤 孝一（名古屋商科大学大学院教授）

主 催：一般社団法人事業承継学会（中部地区）

## 講師プロフィール

武田 昭俊（たけだ あきとし）

昭和19年（1944年）名古屋市生まれ。名古屋商科大学卒業

昭和42年（1967年）ブラザー精密工業(株)入社

昭和47年（1972年）武田工業(株) 入社

昭和58年（1983年）武田工業(株) 代表取締役社長に就任

昭和63年（1988年）(株)タケダ設立 代表取締役社長に就任

平成22年（2010年）(株)タケダ 取締役会長に就任、現在に至る。

「変革による豊かさ」を理念とし、「失敗品から新製品を作る」を

モットーにユニークな経営を目指している。NHKをはじめ、マスコミの

取材も多く、海外からの視察でもその「独創的な技術と育成」が注目されている。さらに各大学から中学校まで幅広く講演活動を行っている。なお、三河経営研究会を16年前に設立して初代会長として地域の発展に寄与している。



野間口 隆郎（のまくち たかお）

慶応義塾大学経済学部卒業後、AFLACにて経営企画部門および法人

営業を担当する。コンサルタントに転じ、デロイトトーマツコンサル

ティング、SAP ジャパン等を経てアーnst・アンド・ヤングにてエ

グゼクティブディレクターを務める。その間に戦略策定から組織変革

マネジメント、SAPやOracleなどのERP 導入・運用支援コンサル

ティングを実施する。

事業承継・後継経営者養成などの経営幹部向け研修講師を務める。

名古屋商科大学大学院マネジメント研究科教授としてオペレーショ

ンマネジメントおよびビジネスサクセッション関連科目を担当する。中央大学大学院法学研究

科国際企業関係法専攻修士課程修了(LL.M) 同国際会計学研究科専門職修士課程修了(M.B.A.

of Accounting)

筑波大学大学院ビジネス科学研究科企業科学専攻博士後期課程システムズマネジメントコー

ス単位取得済



## <講演要旨>

講演は、株式会社タケダ 取締役会長 武田 昭俊 氏が、長男へ事業を承継した経験を踏まえ、「事業承継の前段階として子どもが継ぎたくないような会社にすることが大事。一方で完全な会社にしなくて、子どもに仕事を残しておくことも必要」と述べ、承継における留意点について講演いただきました。さらに、現社長の 武田 泰法 氏 から、親族承継独特の苦労や受け継ぐ側の心情を率直に語っていただき、大いに盛り上がりました。

研究報告は、名古屋商科大学大学院 野間口 隆郎 教授が、事業承継における経営者能力の継承について周辺領域における研究から分析し、今後考えられるアプローチとしてマルチ・エージェント・シミュレーションを紹介し、そのアプローチによる研究の代表例をご説明いただきました。そして、今後の経営者能力そして継承についての研究のアプローチを考察いただきました。その後の懇親会も大盛況のうちに終了しました。

研究会参加者：約 80 名